

2023年11月16日

ノーベルファーマ株式会社

報道関係 各位

令和5年度健やか親子21全国大会（日本家族計画協会：会長 北村邦夫 先生）
において、当社が会長賞を受賞しましたことをごお知らせいたします

ノーベルファーマ株式会社（東京都中央区 代表取締役社長 塩村 仁）は、11月9日に開催された令和5年度健やか親子全国大会において、当社が会長賞を受賞しました事をご報告致します。

海外では低用量経口避妊薬による月経困難症の治療は、長年、中用量ホルモン製剤が用いられており、海外では、血栓症などの重篤な副作用の低減を目的に、経口避妊薬の卵胞ホルモンの低用量化が進んでおりました。これを鑑みて、患者団体からは月経困難症治療剤の低用量化を期待する声が寄せられていました。海外では、低用量経口避妊薬であるレボノルゲストレル 0.15mg/エチニルエストラジオール（EE）0.03mgが、イギリスで月経困難症及び子宮内膜症、ドイツで月経困難症の適応を取得していた以外に例がありませんでした。

そこで当社では、黄体ホルモンとして半世紀に及ぶ使用実績のあるノルエチステロン（NET）を含む低用量経口避妊薬（NET 1mg/EE 0.035mg）を月経困難症治療剤として開発し、2008年に月経困難症治療剤を適応としてルナベル[®]配合錠を皮切りに、2013年に卵胞ホルモンを低用量化したルナベル[®]配合錠ULD、さらにエチニルエストラジオール（EE）0.02 mg＋レボノルゲストレル（LNG）0.09 mgを含有する超低用量 EP 配合剤^{*}であるジェミーナ[®]配合錠を2018年に発売してきました。

当社の長年にわたる母子保健・家族計画の普及に携わった功績が認められての受賞となりましたこと、大変光栄に思います。

^{*}EP 配合剤：エストロゲン（E：卵胞ホルモン）とプロゲステン（P：黄体ホルモン）の2種類の女性ホルモンを配合した製剤

弊社は、今後もアンメットニーズ医薬品・医療機器の提供を通して社会に貢献してまいります。

【日本家族計画協会】

一般社団法人日本家族計画協会(JFPA)は昭和29年(1954年)に創立以来、行政と協力し、専門家の指導を得ながら、家族計画・母子保健の普及啓発のための事業を推進している公益民間団体です。

■ 運動目標

全国どこでも、誰でも、リプロダクティブ・ヘルスサービスを受けられる社会を実現する

■ 基本方針

行政と協力し、専門家の指導を得ながら、リプロダクティブ・ヘルス啓発運動のリーダーシップを確立し事業を推進する

■ スローガン

7A(セブンエー)をスローガンにして、リプロダクティブ・ヘルスの向上を図る

Adolescent	思春期保健の推進
Abortion	安全な人工妊娠中絶
Access	どこでも誰もがサービスを受けられる
Advocacy	啓発・提言活動
AIDS	STI及びHIV/エイズの予防
Ageing	高齢化社会の対策
Abuse	児童虐待の防止

一般社団法人日本家族計画協会 HP より抜粋

【本件に関する問合せ先】

ノーベルファーマ株式会社

広報部長 工藤 登

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目17番24号

Tel: 03-6670-3800